

九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)セミナーのご案内

九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)の福岡セミナーを以下のように開催します。
多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

- ◆日 時 / **2019年10月11日(金)** 13:00～17:15 (受付開始12:30)
- ◆会 場 / 富士通株式会社 九州支社2階(東比恵ビジネスセンターI)カンファレンスルーム 1～3
〒812-8510 福岡市博多区東比恵3-1-2 (1Fは、ローソンです) 最寄駅:東比恵駅・福岡市地下鉄
【地図URL】 <https://www.fujitsu.com/jp/about/corporate/facilities/branches/kyushu/>
- ◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK) http://kdk.firebird.jp/
- ◆参加費 / 無料 ◆定員 / 100名

≪スケジュール≫

第1部 13:00～14:25 【司会: KDK副会長 黒崎播磨 神尾 英俊】			
13:00～13:05	◇開会挨拶	KDK会長 佐賀大学 萩原 世也	
13:05～13:45	◇特別講演1	佐賀大学 名誉教授	門出 政則 様
「水素社会と燃料電池自動車への展開」			
13:45～14:25	◇特別講演2	富士通株式会社 次世代テクニカルコンピューティング 開発本部 HPCソリューション統括部 統括部長	古屋 篤史 様
「超並列技術を用いた鋳造シミュレータおよび磁界シミュレータ」			
(休憩 14:25～14:40)			
第2部 14:40～17:15 【司会: KDK幹事 日鉄プラント設計 加来 貴之】			
14:40～15:10	◇事例紹介1	株式会社 電通国際情報サービス CAE技術部	千葉 栄馬 様
「～設計者がCADデータですぐに解析ができる～ メッシュレス高速解析ツール Altair SimSolid の紹介」			
15:10～15:40	◇事例紹介2	SCSK株式会社 製造エンジニアリング事業本部 解析ソリューション第一部 第三課 課長	和田 浩一 様
「IPSソリューションを活用したリアルタイム解析のご提案」			
(休憩 15:40～15:55)			
15:55～16:25	◇事例紹介3	サイバネットシステム株式会社 CAE事業本部 CAEソリューション事業部 DAFULビジネス室 室長	古井 佐土志 様
「静解析から動解析へ、マルチボディダイナミクス解析ツールDAFULのご提案」			
16:25～16:55	◇事例紹介4	エムエスシーソフトウェア 株式会社	立石 源治 様
「MSCの提案するDigital Thread/Twinのご紹介」			
16:55～17:05	◇アンケート記入		
17:05～17:15	片付～退出		

懇親会 18:00～ 会費 4,000円 場所: 博多いなや Tel 050-3463-6481 博多区博多駅中央街6-17, 1F

- ◆駐車場は準備しておりませんので、お車でお越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。
- ◆お申し込みは、下記申込書にてFAX、またはメールにてどうぞ。
- ◆申し込み期限は 10月4日
- ◆お問い合わせは 九州デジタルエンジニアリング研究会 事務局 竹下(株式会社デックス)まで
TEL 080-7003-0029 FAX 092-600-1913 E-mail: takeshita.kazuhiro@dex-e.com

株式会社デックス 竹下 行 FAX 092-600-1913 <申込み締切り10/4>
「KDK福岡セミナー」申込

事業所名		電話番号	
住所		FAX番号	
氏名		懇親会	出席 欠席

講演概要

◇特別講演1

佐賀大学 名誉教授

門出 政則 様

「水素社会と燃料電池自動車への展開」

【概要】

地球環境とCO2排出の視点から2次エネルギーである水素がエネルギー貯蔵手段の1つとして、注目されている。水素をエネルギー源とした新たな社会構築が進められようとしている中の1つとして、水素利用と燃料電池自動車への展開について講演する。

◇特別講演2

富士通株式会社 次世代テクニカルコンピューティング

開発本部 HPCソリューション統括部 統括部長

古屋 篤史 様

「超並列技術を用いた鋳造シミュレータおよび磁界シミュレータ」

【概要】

近年の計算機パワー向上に伴い、より手軽に大規模なシミュレーションが出来るようになりつつあります。今回の講演では、超並列化技術を用いた鋳造シミュレータおよび磁界シミュレータにより、どのような解析が可能になったかをご紹介します。

◇事例紹介1

株式会社 電通国際情報サービス CAE技術部

千葉 栄馬 様

「～設計者がCADデータですぐに解析ができる～」

【概要】

「Altair SimSolid」は、設計中のCADデータをそのまま使い、ごく簡単な操作だけで、高速に計算結果が得られ、設計開発の製品評価に活用できる、他に類を見ない画期的な解析ソフトウェアです。

SimSolidを活用することで、設計者自身が開発の初期段階で、複雑な作業を一切せずに、複数の設計案を短時間に繰り返し評価ができます。本講演では、SimSolidの特徴、機能、効果、技術的なバックグラウンドをご紹介します。

◇事例紹介2

SCSK株式会社 製造エンジニアリング事業本部

解析ソリューション第一部 第三課 課長

和田 浩一 様

「IPSソリューションを活用したリアルタイム解析のご提案」

【概要】

ドイツ フラウンホーファー研究所により開発された「経路解析」に特化したシミュレーションツール群であるIPSソリューションを欧州自動車メーカーの適用事例も交えながら、リアルタイム解析がもたらす優位性を中心にご紹介いたします。

◇事例紹介3

サイバネットシステム株式会社 CAE事業本部

CAEソリューション事業部 DAFULビジネス室 室長

古井 佐土志 様

「静解析から動解析へ、マルチボディダイナミクス解析ツールDAFULのご提案」

【概要】

実際に動く機構部品であっても、境界条件を工夫して静解析としてシミュレーションされる方が多いですが、動くものは実際に動く境界条件を与えて時刻歴にてシミュレーションするほうが精度よく部品の強度を評価できます。これを実現できるツール「DAFUL」について事例を中心にご紹介いたします。

◇事例紹介4

エムエスシーソフトウェア 株式会社

立石 源治 様

「MSCの提案するDigital Thread/Twinのご紹介」

【概要】

仮想空間で実現象を再現できるデジタルツインの構築は製造業での設計プロセス、製造プロセスの効率向上に大きく貢献する。本講演ではHEXAGONグループが所有する計測技術とMSCソフトウェアが開発するCAE技術を融合し、CAEをコア技術とする高精度なデジタルツインの構築に関する試みについて紹介する。